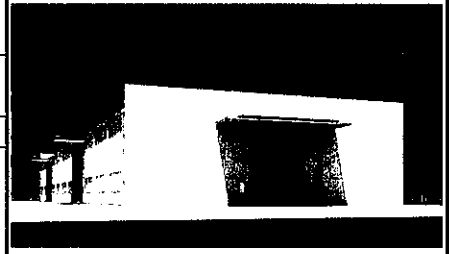


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ヤマコー 宇治田原工場増	階数	地上1F
建設地	京都府綴喜郡宇治田原町緑苑坂54	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	10人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年10月7日
敷地面積	27,171 m ²	作成者	湯浅 純
建築面積	3,119 m ²	確認日	2016年10月7日
延床面積	3,119 m ²	確認者	湯浅 純



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8 ★★★★★ ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Qのスコア= 2.7		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.2 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7
LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 2.8		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.0 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
お施主様の事業性を踏まえた最低限の計画として計画した。		特別な配慮は行っていません。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
換気量は2回/h程度で設計し、室内の空気の循環性に配慮した。	室内空間は作業性を考慮した広さと天井高さを確保した。また、機能性を考慮し、作業場内の配線等は露出配管としている。	敷地内における室外環境は、作業性、使い勝手に配慮しているため、特別な配慮は行っていません。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
作業性に問題がない程度の設備機器の設定をしているため、特別な配慮は行っていません。	人体への健康面に配慮し、有害物質を含む資材の選定はしていません。	敷地外環境は、作業性、使い勝手に配慮しているため、特別な配慮は行っていません。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される